

# 預言は終われない

シリーズ～預言者の声～

2022/11/20

# 捕囚期間後の出来事

- 538年 キュロス王による突然の帰還
- 537年 神殿の基礎・祭壇の再建  
直後に妨害に遭い中断
- 520年 ハガイ・ゼカリヤの預言により再開
- 516年 神殿完成(エズラ6:15)
- 458年 祭司エズラの帰還(同7章)  
帰還民たちに律法を教える
- 445年 王の献酌官ネヘミヤの帰還(ネヘミヤ記)  
困難を乗り越え短期間で城壁を再建  
エズラ・ネヘミヤによる粛正
- 4\_\_\_\_年 マラキによる預言

# 預言① 愛を疑う民

## • 民の言葉

- 「わたしはあなたたちを愛してきたと／主は言われる。しかし、あなたたちは言う／どのように愛を示してくださったのか、と。」1:2

## • 主の答え

- 「エサウはヤコブの兄ではないかと／主は言われる。しかし、わたしはヤコブを愛しエサウを憎んだ。わたしは彼の山を荒廃させ／彼の嗣業を荒れ野のジャッカルのものとした。」1:3
- ヤコブの子孫であるイスラエルには特別な憐れみが注がれ続けてきた



## 預言② 軽んじられた御名

- 民(祭司)の言葉

- 「わたしが主人であるなら／わたしに対する畏れはどこにあるのかと／万軍の主はあなたたちに言われる。わたしの名を軽んずる祭司たちよ／あなたたちは言う／我々はどのようにして御名を軽んじましたか、と。」1:6

- 主の答え

- 「あなたたちが目のつぶれた動物を／いけにえとしてささげても、悪ではないのか。足が傷ついたり、病気である動物をささげても／悪ではないのか。それを総督に献上してみよ。彼はあなたを喜び、受け入れるだろうかと／万軍の主は言われる。」1:8

## 預言② 軽んじられた御名

- 民(祭司)の言葉

- 「わたしが主しであるから、わたしに対する畏れに、傷のある動物(売り物にならない)をささげておきながら、主に感謝した気になっている」

- 主の答え

- 「あなたたちが目のつぶれた動物を／いけにえとしてささげて、悪ではないのか。足が傷ついたり、病気である動物をささげて、悪ではないのか。それを総督に献上してみよ。彼はあなたを喜び、受け入れるだろうかと／万軍の主は言われる。」1:8

## 預言③ 夫婦契約の軽視

### • 民の言葉

- 「あなたたちは、なぜかと問うている。それは、主があなたとあなたの若いときの妻との証人となられたのに、あなたが妻を裏切ったからだ。彼女こそ、あなたの伴侶、あなたと契約をした妻である。」2:14

### • 主の答え

- 「あなたたちは、なぜかと問うている。それは、主があなたとあなたの若いときの妻との証人となられたのに、あなたが妻を裏切ったからだ。彼女こそ、あなたの伴侶、あなたと契約をした妻である。」2:14

# 預言③ 夫婦契約の軽視

## • 民の言葉

- 「あなたたちは、なぜかと問うている。それは、主があなたとあなたの若いときの妻との証人となられた。彼女こそ、あなたの伴侶、あなたと契約をした妻である。」2:13
- 簡単に妻を離縁する事は、簡単に主との契約を破る事と同じである

## • 主の答え

- 「あなたたちは、なぜかと問うている。それは、主があなたとあなたの若いときの妻との証人となられたのに、あなたが妻を裏切ったからだ。彼女こそ、あなたの伴侶、あなたと契約をした妻である。」2:14

# 預言④ 失われた主への畏れ

## • 民の言葉

- 「あなたたちは、自分の語る言葉によって／主を疲れさせている。それなのに、あなたたちは言う／どのように疲れさせたのですか、と。」2:17

## • 主の答え

- 「あなたたちが／悪を行う者はすべて、主の目に良しとされるとか／主は彼らを喜ばれるとか／裁きの神はどこにおられるのか、などと／言うことによってである。」2:17
- 「裁きのために、わたしはあなたたちに近づき／直ちに告発する。呪術を行う者、姦淫する者、偽って誓う者／雇い人の賃金を不正に奪う者／寡婦、孤児、寄留者を苦しめる者／わたしを恐れぬ者らを、と万軍の主は言われる。」3:5

# 預言④ 失われた主への畏れ

## • 民の言葉

- 「あなただちが／悪を行おう者、主の忌み嫌われること(律法に背くこと)を行っていながら、主の裁きなど起こらないと高をくくっている

をう

## • 主の答

- 「あなたたちが／悪を行おう者はすべて、主の目に良しとされるとか／主は彼らを喜ばれるとか／裁きの神はどこにおられるのか、などと／言うことによってである。」2:17
- 「裁きのために、わたしはあなたたちに近づき／直ちに告発する。呪術を行おう者、姦淫する者、偽って誓う者／雇い人の賃金を不正に奪う者／寡婦、孤児、寄留者を苦しめる者／わたしを恐れぬ者らを、と万軍の主は言われる。」3:5

## 預言⑤ 不誠実な信仰態度

### • 民の言葉

- 「立ち帰れ、わたしに。そうすれば、わたしもあなたたちに立ち帰ると／万軍の主は言われる。しかし、あなたたちは言う／どのように立ち帰ればよいのか、と。」3:7

### • 主の答え

- 「十分の一の献げ物をすべて倉に運び／わたしの家に食物があるようにせよ。これによって、わたしを試してみよと／万軍の主は言われる。**必ず、わたしはあなたたちのために／天の窓を開き／祝福を限りなく注ぐであろう。**」3:10

## 預言⑤ 不誠実な信仰態度

• 民の言

• 「立  
たか  
かし  
よし

「土地から取れる収穫量の十分の一は、穀物であれ、果実であれ、主のものである。それは聖なるもので主に属す。」(レビ記27:30)

な  
し  
ば

• 主の答

• 「十分の一の献げ物をすべて倉に運び／わたしの家に食物があるようにせよ。これによって、わたしを試してみよと／万軍の主は言われる。**必ず、わたしはあなたたちのために／天の窓を開き／祝福を限りなく注ぐであろう。**」3:10

# 預言⑥ 開き直った民

## • 民の言葉

- 「あなたたちは、わたしに／ひどい言葉を語っている、と主は言われる。ところが、あなたたちは言う／どんなことをあなたに言いましたか、と。…あなたたちは言っている。『神に仕えることはむなしい。たとえ、その戒めを守っても／万軍の主の御前を／喪に服している人のように歩いても／何の益があろうか。むしろ、我々は高慢な者を幸いと呼ぼう。彼らは悪事を行っても栄え／神を試みても罰を免れているからだ。』」3:13-15

## • 主の答え

- 「主は耳を傾けて聞かれた。神の御前には、主を畏れ、その御名を思う者のために記録の書が書き記された。…そのとき、あなたたちはもう一度／正しい人と神に逆らう人／神に仕える者と仕えない者との／区別を見るであろう。」3:16、18

# 預言⑥ 開き直った民

## • 民の言葉

- 「あなたたちは わたしに / どの言葉を語っている、と主は言はなす。『神に仕え、軍の何のう。彼らに呼ばれて』」3:13-15
- 主の戒めを守っても何も良い事はない。悪事を働いても裁かれず、栄えている者がいるではないか！

## • 主の答え

- 「主は耳を傾けて聞かれた。神の御前には、主を畏れ、その御名を思う者のために記録の書が書き記された。…そのとき、あなたたちはもう一度 / 正しい人と神に逆らう人 / 神に仕える者と仕えない者との / 区別を見るであろう。」3:16、18

# 信仰を失う前ぶれ

- 主の愛を疑う(救われたことを忘れる)
- 神の国と神の義が第一ではなくなる
- 自分本位になる
- すべてのものは主からの恵みであることを忘れてしまう
- 主は私たちの心の内側まで見抜いておられることに気づかない
- 主はすべてをご存じであり、裁き主であることを忘れている

# 預言は終われない！

「わが僕モーセの教えを思い起こせ。わたしは彼に、全イスラエルのため／ホレブで掟と定めを命じておいた。見よ、わたしは／大いなる恐るべき主の日が来る前に／**預言者エリヤをあなたたちに遣わす**。彼は父の心を子に／子の心を父に向けさせる。わたしが来て、破滅をもって／この地を撃つことがないように。」3:22－24